
第 68 報 平成 27 年 1 月 16 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向

一般財団法人 経済調査会

【 コンクリート用砕石／南三陸 】

南三陸地区のコンクリート用砕石(20～5mm)は、m3 当たり 4,000 円と前月比 200 円の上伸となった。震災関連の復興工事が徐々に本格化するにつれ、昨秋以降生コンクリート需要も増加の一途。旺盛な需要に支えられて売り手市場となる中、骨材メーカーは価格の底上げ実現に向け売り腰を強めてきた結果、需要家側に値上げが浸透した。生コンクリートの復興需要は、次年度さらに増大するとの見方が大勢で、先行き、強含み横ばいの見通し。

【 再生クラッシュラン／仙台 】

仙台地区の再生クラッシュラン(40～0mm)は、m3 当たり 2,400 円と前月比 200 円上伸した。震災復旧・復興工事の本格化以降、工事案件は大量かつ多方面に拡大しており、原材料となる廃材在庫は不足気味で、需給はひっ迫状況が続いている。メーカー側は、製造・運搬コスト上昇にかかわる製品価格への未転嫁分を吸収すべく継続的に値上げを行っており、ここきて材料確保を優先する需要家側に値上げが浸透した。今後もこうした展開が続くものとみられ、先行き強含み横ばいの見通し。

【 石油製品（軽油・ローリー渡し）】

原油価格が大幅に下落したことを背景に、元売会社が卸価格を引き下げたことを受けて、流通側の売り腰は軟化している。価格は k1 当たり前月比 1 万円下落し、10 万 2,000 円(仙台)となった。足元、在庫量が増加するなど需給緩和が進行する中、流通側の売り腰は弱く、先行き、弱含みの見通し。

【生コン、アスファルト混合物工場の稼働状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる生コン、アスファルト混合物各工場の稼働状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼働状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 一般財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部
TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) 単位:m3 (P78~)	岩手県	宮古	2014年 8月号	1,500円/m3上伸 2万2,750円	1月13日		ひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2013年 12月号	1,500円/m3上伸 1万5,900円	1月13日		ややひっ迫	横ばい
		久慈	2013年 8月号	1,200円/m3上伸 1万4,700円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	1,000円/m3上伸 1万7,700円	1月13日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2013年 7月号	2,000円/m3上伸 1万4,000円	1月13日		ややひっ迫	横ばい
		石巻	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	1月13日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万7,700円	1月13日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	1月13日		ややひっ迫	横ばい
		亘理	2014年 12月号	500円/m3上昇 1万8,000円	1月13日		ややひっ迫	横ばい
		松島	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	1月13日		ややひっ迫	横ばい
		南三陸	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	1月13日		ややひっ迫	横ばい
	福島県	いわき	2014年 4月号	1,000円/m3上伸 1万3,000円	1月13日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 6月号	2,000円/m3上伸 1万5,000円	1月13日		ひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砂 荒目(洗い) 単位:m3 (P170~) ※南相馬は 細目(洗い) の価格を掲載	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,300円	1月13日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 8月号	「-」表示	1月13日		-	-
		久慈	2013年 8月号	1,000円/m3上伸 4,500円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	300円/m3上伸 3,700円	1月13日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,400円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,600円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	100円/m3上伸 4,200円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/m3上伸 5,200円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,400円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 2月号	200円/m3上伸 3,200円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,800円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2014年 6月号	300円/m3上伸 3,950円	1月13日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 10月号	300円/m3上伸 3,900円	1月13日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砕石 20～5mm 単位:m3 (P170～) ※宮古は 砂利25mm以下 の価格を掲載	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,200円	1月13日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2014年 9月号	100円/m3上伸 3,700円	1月13日		ひっ迫	強含み
		久慈	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,500円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	200円/m3上伸 3,600円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,900円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,400円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,900円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 4,000円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,800円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,200円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2015年 2月号	200円/m3上伸 4,000円	1月13日	震災関連の復興工事が徐々に本格化するにつれ、生コンクリートの需要も秋以降増加の一途。骨材メーカーでは売り手市場の中、価格の底上げ実現に向け売り腰を強めてきた結果、旺盛な需要にも支えられて需要家に値上げが浸透。m3当たり200円の上伸となった。生コンクリートの復興需要は次年度さらに増大する見込みで、先行き、強含み横ばいの見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2014年 6月号	300円/m3上伸 3,950円	1月13日		ひっ迫	強含み横ばい
南相馬		2013年 10月号	300円/m3上伸 3,800円	1月13日		ひっ迫	強含み	

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
再生 クラッシュラン 40~0mm 単位:m3 (P170~)	岩手県	宮古	2012年 5月号	300円/m3上伸 2,200円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 2,100円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		久慈	—	2,300円	1月13日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	200円/m3上伸 2,200円	1月13日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2015年 2月号	200円/m3上伸 2,400円	1月13日	震災復旧工事の本格化以降、工事件件は大量かつ多方面に広がっており、需要は高水準を維持。原材料となる廃材在庫が不足気味で、需給のひっ迫傾向に変わりはない。こうした状況下、製造側ではこれまでの製造・運搬にかかわるコスト上昇の製品価格への未転嫁分を吸収すべく継続的な値上げを行ってきたが、材料確保を優先する需要家に値上げが浸透したことにより、m3当たり200円の上伸。今後もこのような展開が続く見通しであり、先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2015年 2月号	200円/m3上伸 2,500円	1月13日	各メーカーではプラント修繕・設備増強によるコスト上昇を背景に値上げを実施。震災復興工事向けの需要増を背景とした売り手市場の中、需要家に値上げが浸透。m3当たり200円の上伸となった。次年度も堅調な需要が見込まれるため、先行き、強含み横ばいの見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2015年 2月号	200円/m3上伸 3,000円	1月13日	各メーカーではプラント修繕・設備増強によるコスト上昇を背景に値上げを実施。震災復興工事向けの需要増を背景とした売り手市場の中、需要家に値上げが浸透。m3当たり200円の上伸となった。次年度も堅調な需要が見込まれるため、先行き、強含み横ばいの見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2015年 2月号	200円/m3上伸 2,500円	1月13日	震災復興関連工事のうち、今年度は特に宅地造成工事等を中心に需要が増大している。各メーカーでは売り手市場の中、販売価格底上げの動きが加速し需要家に値上げが浸透。m3当たり200円の上伸となった。次年度も継続して旺盛な需要が見込まれるため、先行き、強含み横ばいの見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2015年 2月号	300円/m3上伸 2,400円	1月13日	震災復旧工事の本格化以降、工事件件は大量かつ多方面に広がっており、需要は高水準で推移している状況。原材料となる廃材在庫が不足気味で、需給はひっ迫傾向。こうした状況下、製造側ではこれまでの製造・運搬にかかわるコスト上昇の製品価格への未転嫁分を吸収すべく継続的な値上げを行っており、材料確保を優先する需要家に値上げが浸透したことにより、m3当たり300円の上伸となった。今後もこのような展開が続くものとみられており、先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2015年 2月号	200円/m3上伸 2,600円	1月13日	震災復旧工事の本格化以降、工事件件は大量かつ多方面に広がっており、需要は高水準で推移している状況。原材料となる廃材在庫が不足気味で、需給はひっ迫傾向。こうした状況下、製造側ではこれまでの製造・運搬コスト上昇にかかわる製品価格への未転嫁分を吸収すべく継続的な値上げを行っており、材料確保を優先する需要家に値上げが浸透したことにより、m3当たり200円の上伸となった。今後もこのような展開が続くものとみられており、先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2015年 2月号	100円/m3上伸 2,700円	1月13日	震災復興関連工事や三陸道関連工事向けを中心に需要が増大。各メーカーでは売り手市場の中、販売価格底上げの動きが加速し需要家に値上げが浸透。m3当たり100円の上伸となった。次年度も継続して堅調な需要が見込まれるため、先行き、強含み横ばいの見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
		福島県	いわき	2014年 6月号	100円/m3上伸 2,150円	1月13日		ひっ迫
	南相馬		2013年 3月号	300円/m3上伸 2,200円	1月13日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
アスファルト 混合物 密粒度(13) 単位:t (P298~)	岩手県	宮古	2014年 4月号	800円/t上伸 1万5,600円	1月13日		ややひっ迫	横ばい
		大船渡	2014年 4月号	800円/t上伸 1万4,800円	1月13日		均衡	横ばい
		久慈	2014年 4月号	600円/t上伸 1万4,900円	1月13日		ややひっ迫	横ばい
		釜石	2014年 4月号	800円/t上伸 1万4,900円	1月13日		均衡	横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	1月13日		均衡	横ばい
		石巻	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,500円	1月13日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,800円	1月13日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/t上伸 1万3,200円	1月13日		均衡	横ばい
		亘理	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	1月13日		均衡	横ばい
		松島	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,300円	1月13日		均衡	横ばい
		南三陸	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,700円	1月13日		均衡	横ばい
	福島県	いわき	2014年 4月号	800円/t上伸 1万3,100円	1月13日		均衡	横ばい
		南相馬	2013年 12月号	700円/t上伸 1万3,150円	1月13日		ひっ迫	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	鋼材	9 ～ 11	鋼矢板・鋼管杭	1月13日	鋼管杭は、大型プロジェクトを多数控え需要は旺盛で、メーカーは納期調整に努めている。中でも鋼管矢板などの加工度合いが高い製品は、年度末の納期が厳しい状況となっている。価格はt当たり13万4,000円(全国)どころで前月比変わらず。引き続き、需給はタイトな状況にあり、先行き、強含みの見通し。一方、鋼矢板も渇水期を迎え、堅調に推移。ただし、鋼管杭ほどのタイト感はなく、価格は現行値圏内で推移する見通し。	ひっ迫	強含み
		18 ～ 21	異形棒鋼	1月13日	需要家側の材料手配が一巡しており引き合いは低調で、需給にタイト感は見られない。加えて、原料の鉄屑価格が下落基調にある中、需要家からの指し値は厳しく、数量確保に向けた流通側が安値に応じる場面が目立ち、t当たり1円下落し64円となった。メーカー側は、これ以上の市況下落を回避すべく需要見合いの生産に徹し、採算重視の販売姿勢を堅持する構え。先行き、横ばい推移の見通し。	やや緩和	横ばい
	セメント	72	セメント(バラ)	1月8日	沿岸部の復興道路や港湾関連工事、内陸部においては横断道路関連工事を中心に工事口、生コン工場向けともに需要は堅調で、メーカー側が昨年度より増産体制を整えている。いまのところ供給面での支障は出ていないものの、今後、年度末から次年度にかけては大型案件が控えているため、車両不足など輸送体制が懸念されている。そのため、販売側は、今後需要が見込める岩手、福島の内陸部を中心に値上げ交渉を進めていく構え。先行き、強含み横ばいの見込み。	ややひっ迫	強含み横ばい
	型枠材	209	コンクリート 型枠用合板	1月9日	仙台地区の価格は、12×900×1800mmで枚当たり1,370円どころと前月比横ばい。販売側は円安によるコスト上昇分を転嫁すべく売り腰を強めているものの、年末年始休暇を是年で需要家側の反応は鈍く、相場は一服状態。先行き、さらなるコスト高の製品入荷が控えており、強含み推移の見通し。	均衡	強含み
	木材	224 ～ 227	仮設・土木用 木材	1月9日	沿岸部では海岸堤防(防潮堤)向けにまとまった数量の引き合いが続いており、荷動きは好調。価格は高止まりしており、今後も底堅い需要が見込まれることから、先行きは強含み横ばいで推移する見込み。	均衡	強含み横ばい
		228 ～ 235	一般建築用 木材	1月9日	需要は災害公営住宅の建設が本格化し、民間の需要減を補うような形となっており、堅調に推移している。しかし、全体の需給をひっ迫させるまでには至っていない。先行き、価格は動意薄く、横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	石油製品	248 ～ 250	石油製品 (軽油・ローリー渡し)	1月13日	原油価格が大幅に下落したことを背景に、元売会社が卸価格を引き下げたことを受けて、流通側の売り腰は軟化している。価格はKL当たり前月比1万円下落し、10万2,000円(仙台)となった。足元、在庫量の増加に伴い、需給の緩和が進行する中で流通側の売り腰は弱く、先行き、弱含み。	やや緩和	弱含み
	仮設関連資材	252(販売) 282(リース)	仮設足場	1月13日	リース材の稼働率はほぼ前年並で推移している。需要の最盛期であり、需給はひっ迫しているものの、4月以降は緩和する見通し。稼働率は好調に推移しているものの、価格に変動はみられない。先行き、横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	横ばい
	各種 賃貸料金	264 ～ 270	建設機械器具 賃貸料金	1月14日	復興関連工事を中心に引き合いはあるものの、市況が上向くほどの特別な需要はなく、価格は現行水準を横ばいで推移している。	均衡	横ばい
		271 ～ 281	仮設鋼材 賃貸料金	1月9日	<p>【鋼矢板・H形鋼・鋼製山留材・鋼製覆工板】</p> <p>震災復興工事関連の需要は堅調で、仮設鋼材の稼働率は高水準を維持している。特に鋼製覆工板を中心に需給はひっ迫している。鋼矢板、H形鋼についても一部サイズ、長さで歯抜けが生じており、急な引き合いには対応できない場面もみられる。需給がタイトな状況下、リース業者の販売姿勢は引き締まっており、賃料は高止まりしている。東北、関東を中心に今後も旺盛な需要が見込まれており、先行き、強含み。</p> <p>【敷き鉄板】</p> <p>東北地区は旺盛な復興関連需要を背景に引き合いは好調。需要期に入り全国的に敷き鉄板はひっ迫している。一部では供給難や供給遅れが生じるといった事例も散見される。このような中、賃料は高止まりの状況が続いており、価格は横ばい推移。新材の鋼材価格に大きな変動がないため、もう一段の賃料上昇には需要家の抵抗が強く、先行き横ばい。</p>	ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
土木資材	舗装用材	299	ストレートアスファルト	1月5日	<p>全国のス・アス需要は前年並みから若干減少している。東北地区における需要の伸びは縮小傾向にあるが、被災3県における混合物製造量は震災前の1.5～2倍の高水準を維持している。</p> <p>仙台地区の価格は、t当たり9万4,000円と前月比横ばい。秋口から原油価格の下落が続き、平成26年12月にはス・アス価格も下落した。その後も原油価格は低迷を続けるものの、ス・アス市況に変動は見られず、目先、横ばい推移。</p>	均衡	横ばい
建築資材	内外装材	576	針葉樹 構造用合板	1月9日	<p>メーカーは生産調整を継続しているものの、荷動きは低迷しており、需給環境は依然として改善されていない。仙台地区の価格は、12×910×1820mmで枚当たり940円どころと前月比変わらず。メーカーは値戻しを打ち出しているものの、需要回復の見込みは薄く、先行き、横ばい推移の見通し。</p>	やや緩和	横ばい
電気設備資材	電線・ケーブル	612 ～ 613	600V 架橋ポリエチレン 絶縁ビニル シースケーブル(CV)	1月8日	<p>荷動きは堅調ではあるが、比較的小規模な案件向けの出荷が多い。復興需要が本格化する時期は不透明で、現状、メーカーは平常どおりの生産体制となっている。</p> <p>為替の影響から、銅建値が下落するとの見方が濃厚で、先行き、弱含み横ばいで推移する見通し。</p>	均衡	弱含み横ばい
機械設備資材	配管材	782 ～ 783	硬質ポリ塩化 ビニル管	1月14日	<p>官需では下水道関連および津波の塩害が残る農地関連の復旧工事が本格化し、上下水道用・農水用製品の需要が旺盛だが、建築・設備用製品は、一部で公営住宅等建築関連の荷動きがあるものの、大きなボリュームを占める民需が全国的に低迷しており、震災復興関連需要が製品市況を押し上げるまでに至っていない。</p> <p>メーカー側は昨春に2年連続の値上げを打ち出し採算改善に懸命で、安値契約の解消を進めつつ市況維持を図っている状況。しかし、原油価格下落に伴う樹脂原料コストの軟化を見越した需要家の値上げへの抵抗は根強い。</p> <p>先行き、横ばいの見通し。</p>	均衡	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「土木施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
土木工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	3 ～ 9	1月13日	被災三県の土木系鉄筋工事は、継続的に発注されている復興関連工事と自治体発注工事を中心に、引き続き需要は堅調に推移している。一方、関東地区ではオリンピック関連工事等の需要増が見込まれており、これらが被災三県における需給のひっ迫につながることを懸念する声も聞かれている。 こうした中、確実な労働力確保を目指す総合工事業者側に対し、専門工事業者側では、この機に取引価格を値戻ししたいとの意向を強めており、継続的な値上げ交渉を展開している。先行き、市況は強含みで推移する公算が大きい。	ややひっ迫	強含み
港湾工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	442 ～ 445	1月13日	被災三県の港湾工事は、国・自治体等、復旧・復興関連工事が引き続き進められている中、内陸部のトンネル・橋梁等大型工事も加わり、需要は堅調に推移している。 こうした状況から、鉄筋工の港湾工事市場単価は『土木施工単価』秋号で5%程度上昇したのち、冬号では同値圏内を横ばい推移している。しかし、年度末に向け繁忙期を迎える中、状況次第では技能者、建設機械、材料等の需給ひっ迫が懸念されており、専門工事業者側の値上げ要請が強まる可能性が大きい。先行き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み
	型枠工 (材工共)	450 ～ 453	1月13日	被災三県では、復旧・復興工事を中心とした港湾工事が引き続き進められており、需要は堅調に推移している。一方、価格面では、『土木施工単価』秋号で5%程度の上伸後、取引価格に大きな変動はみられず、冬号では同値圏内を横ばいで推移。しかし、年度末にかけて港湾工事および土木工事が繁忙期を迎える中、状況次第では技能者、建設機械、材料等の需給ひっ迫が懸念されており、専門工事業者側の値上げ要請が強まる可能性が大きい。先行き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「建築施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
建築工事 市場単価	鉄筋工事 (手間のみ)	10 ~ 13	1月9日	<p>新規の案件はやや落ち着いているものの、沿岸部の施設建設や内陸部の復興住宅など復興向け工事が継続しているほか、オフィスビル等の開発物件もみられ、堅調に推移している。</p> <p>職人の稼働率は高水準となっており、専門工事業者主導の市況展開は変わっていない。総合工事業者側も、確実な履行を見通せる工期設定や、労働力の確保を優先した受注姿勢を堅持していることから、先行きも強含みで推移する公算が大きい。</p>	ややひっ迫	強含み
	型枠工事 (材工共)	18 ~ 21	1月9日	<p>沿岸地域の水産加工場や、内陸部の復興公営住宅等の工事が本格化しているのに加え、住居・オフィスビル等の物件も継続的にみられる。こうした中、総合工事業者は型枠工の確保を優先せざるを得ない状況で、市況は強含みで推移する見通し。</p>	ひっ迫	強含み